

(26103C) 新規需要開拓のためのチューリップ新品種育成と切り花等高品質化技術の開発

事業名 イノベーション創出強化研究推進事業(開発研究ステージ)

実施期間 平成26年～30年度(5年間)

研究グループ 富山県農林水産総合技術センター園芸研究所、新潟県農業総合研究所園芸研究センター、埼玉県農業技術研究センター、農研機構野菜花き研究部門

作成者 富山県農林水産総合技術センター園芸研究所 西村麻実

1 研究の背景

日本国内で流通している輸入球根に対抗し、さらなる販路の拡大を目指すためには、オランダ育成チューリップ品種との差別化が図れる新しい品種や技術を活かした新たな需要の創出が求められている。

2 研究の概要

日本人の感性に合った希少な花型や促成切り花・鉢花生産にも対応した品種を育成するとともに、日持ち性や芳香性を最大限に発揮させるための基礎研究及び栽培技術を開発し、新たな需要創出を図る。

3 研究期間中の主要な成果

- ① 鉢物にも適するわい性チューリップ品種「白天使」「恋のはじまり」、希少な花型のフリンジ咲チューリップ品種「炎のダンス」「乙女のドレス」、切り花に適するチューリップ品種「新紅」を育成した。
- ② 品質保持剤(前処理および後処理)を利用することで、作型に関わらずチューリップ切り花の草姿が改善され、花の日持ちが30%延長することが明らかとなり、日持ち向上マニュアルを発刊した。

4 研究終了後の新たな成果

選抜した有望系統のなかから、希少な花型のユリ咲きチューリップ品種「紅つるぎ」「黄つるぎ」、球根腐敗病等の耐病性に優れたチューリップ品種「春うさぎ」「春のワルツ」を育成した。

5 公表した主な特許・品種・論文

- ① 品種登録出願第33047号 チューリップ品種「新紅」を品種登録(R4年1月)(出願者名:新潟県)
- ② 品種登録出願第33269・33270号チューリップ品種「炎のダンス」「乙女のドレス」を品種登録(R5年11月)(R4年1月)(出願者名:富山県)
- ③ 品種登録出願第34244・34249号チューリップ品種「紅つるぎ」「黄つるぎ」を品種登録(R5年12月)(R5年11月)(出願者名:富山県)

6 開発した技術・成果の社会実装(実用化)・普及の実績及び今後の展開

(1) 社会実装(実用化)・普及の実績

- ① 「白天使」「恋のはじまり」(H30年10月)、「炎のダンス」「乙女のドレス」(R2年10月)、「紅つるぎ」「黄つるぎ」(R3年10月)、「新紅」「春うさぎ」(R4年10月)の球根生産・販売が開始された(約15a)。
- ② 切り花産地では品質保持剤(前処理剤)の導入が進み、新潟県では全出荷量の約9割、富山県では全量に前処理剤が利用されている。

(2) 社会実装(実用化)・普及の達成要因

育成品種の種苗を速やかに供給をできるよう、ウイルス検定を利用した無病原種球根を供給したほか、関係機関と連携し、品種に応じた栽培指針を作成して原種球根の短期増殖を図った。
また、日持ち向上マニュアルを活用した指導により品質保持剤の導入を推進した。

(3) 今後の開発・普及目標

育成した品種について関係機関と協力しながら球根の生産・販売を進め、目標面積(1.5ha)の普及を目指す。最終的にはチューリップで香りという新たな楽しみ方を提案するとともに、さらなる日持ちの改善に取り組み、品質の高い切り花、鉢花の提供を目指す。

7 開発した技術・成果が普及することによる波及効果及び国民生活への貢献

オランダアルメーレ国際園芸博覧会(2022年)切花コンテストで「乙女のドレス」が金賞、「黄つるぎ」が銅賞を受賞するなど育種技術の高さが国際的に認められ、国内育成品種のブランド力を高めた。

育成した品種や日持ち向上技術の普及により、球根・切り花生産者の経営の改善や安定化が図られるとともに、日本人の感性に合う花を長期間鑑賞できることは、国民の自然を愛する豊かな心の醸成に大いに貢献できると期待される。

(26103C) 新規需要開拓のためのチューリップ新品種育成と切り花等高品質化技術の開発

研究期間中及び終了後の成果

◆ 鉢花にも適するわい性2品種、希少な花型のフリンジ咲き2品種・ユリ咲き2品種、切り花向け1品種、耐病性を有する花壇向け2品種を育成した。



白天使
白色ユリ咲き
12～2月鉢花生産可



恋のはじまり
濃紫桃色一重咲き
2月鉢花生産可



炎のダンス
明橙赤色フリンジ咲き
2月切り花生産可



乙女のドレス
淡紫桃色八重フリンジ咲き
12～2月切り花生産向け



新紅
赤色一重咲き
12～2月切り花生産向け



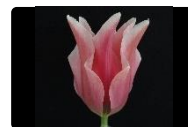
紅つるぎ
赤色ユリ咲き
1～2月切り花生産可



黄つるぎ
黄色ユリ咲き
3月切り花生産可



春うさぎ
白色一重咲き
2～3月切り花生産可(耐病性)

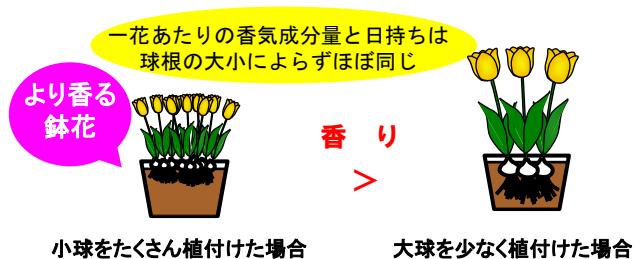


春のワルツ
濃黄桃色ユリ咲き
花壇向け(耐病性)

◆ 品質保持剤による切り花の草姿・日持ち向上技術を開発した。 ◆ 小さな球根をたくさん植えて鉢花としての香りを高める栽培方法を確立した。



観賞7日後(品種:リンファンダマーク)
(左:無処理、右:前・後併用処理)



研究終了後の成果の普及状況

